

このマップは、相模川、小出川、目久尻川、永池川が、最大規模の降雨によって氾濫した場合に想定される浸水の深さ、家屋倒壊の危険のある範囲、浸水の継続時間を示し、合わせて、危険が迫ったときに避難する「広域避難場所（避難所）」などを示したもので、町民のみならずの避難に役立つように作成したものです。

これらのマップを参考に、日ごろからどのように避難すればよいかなどを家族で話し合い、いざというときに危険を回避できるようにしましょう。

マップは貼り付けておいたり、すぐに取り出せるところに保管し、避難する際には持ち出せるようにしておきましょう。

外水氾濫

大雨によって河川の水位が高くなると、堤防を越えて水があふれだし、堤防の土砂が流出して決壊することがあります。

このハザードマップに示した浸水想定区域図は、外水氾濫を想定したものです。

なお、このマップで浸水が想定されている範囲以外にも内水氾濫などで浸水が発生する可能性があります。

内水氾濫

短時間での強い雨などによって雨の量が下水道や道路側溝などの排水施設の能力を超えたり、河川の水位が高くなって雨水の排水ができなくなることによって発生する浸水を内水氾濫といいます。

このハザードマップのほかに内水氾濫を示したハザードマップがあります。

大雨・氾濫注意報 (気象庁)	●ハザードマップや寒川町防災ハンドブック等で、自らの避難行動を確認しましょう。
高齢者等避難	●避難に時間を要する人（ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児等）とその支援者は避難を開始しましょう。 ●その他の人は、避難の準備を整えましょう。
避難指示	●速やかに避難所へ避難しましょう。 ●外出することによって命に危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所への避難や、自宅内のより安全な場所へ避難しましょう。

大雨等による危険が切迫した場合、気象庁から「注意報」「警報」が発表されます。警報の基準をはるかに上る豪雨等が予想され、重大な災害の危険性が著しく高まっている場合は、「特別警報」が発表されます。

※**特別警報が発表されない場合でも、重大な被害が発生する可能性があります**

	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮
警戒レベル5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
警戒レベル4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
警戒レベル3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
警戒レベル2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
警戒レベル1	早期注意情報			

警戒レベル	とるべき行動	町が発表する 避難情報等	水位情報	避難情報等の発表の 基準となる水位（イメージ）
警戒レベル 5	すでに災害が発生しており、命を守るための最善の行動をとる	緊急安全確保	氾濫特別警戒	
警戒レベル 4	屋内への避難など、直ちに命を守る行動をとる（垂直避難等） 浸水しない地域へ速やかに避難する（水平避難等）	避難指示	氾濫危険警戒	
警戒レベル 3	高齢者は避難を開始する その他の人は避難準備をする	高齢者等避難	氾濫警戒	
警戒レベル 2	災害に備えた避難行動を確認する	—	氾濫注意報	
警戒レベル 1	災害への心構えを高める	—	—	

避難所をあらかじめ確認しておく 洪水の時に避難する場所を「洪水ハザードマップ」で確認しておきましょう。	避難所まで実際にあるいてみる 実際に避難所まで歩いて、ふたの無い側溝など避難時に危険だと感じる場所を確認しておく。また、避難所までの時間も確認しておきましょう。
地域でいざという時のことを話し合う 地域全体が安全に避難するために、高齢の方や障がいのある方などへの避難時の配慮を、事前に話し合っておきましょう。	非常時に持ち出すものを準備しておく 非常時に持ち出し品を日頃から準備し、食料品や乾電池などは、定期的にチェックしておきましょう。持ち出し品は必要最小限にしましょう。
二次災害を防ごう 屋外においてある物置や工具、ガスボンベなどが洪水時に流れると二次災害に繋がります。流れる危険のあるものは、あらかじめ固定しておきましょう。	洪水ハザードマップは目立つ所に保管 「洪水ハザードマップ」は目立つ所に保管し、非常時に持ち出しましょう。また、あらかじめ、マイ・タイムラインを記入しておきましょう。

● 家庭で出来る簡易水防

浸水が浅い場合には、土のう（なければ水のう）を設置することで、浸水防止に活用できます。

簡易水のうの作り方

ゴミ袋に水を入れる。

ひもやテープでしっかりと縛り、段ボールに入れると固定しやすく強度も上がる。

簡易水防① プランター＋ビニールシート

簡易水防② 簡易水のう ＋ 止水板

簡易水のうを作り、段ボールに入れて固定し、止水板を固定する。

● 浸水防止施設設置工事補助金

町では浸水による住宅の被害を軽減するため、浸水防止施設の設置に対し、費用の一部を補助しています。

```

graph TD
    A[気象庁  
(気象情報等)] <--> B[寒川町災害対策本部  
(避難情報等)]
    A --> C[テレビ・ラジオ  
インターネット]
    A --> D[防災行政無線  
メール配信・広報車]
    A --> E[パトカー  
消防車]
    B --> C
    B --> D
    B --> E
    C --> F[町民のみなさん]
    D --> F
    E --> F

```

● 気象庁
気象警報や注意報、台風の情報、
天気予報など
<https://www.jma.go.jp/jma/index.html>

● 川の防災情報(国土交通省)
雨量や水位の情報、洪水に関する
情報など
<https://www.river.go.jp/s/xmno105010/>

● 京浜河川事務所
水位の情報、カメラ画像など
<https://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/>

詳しくは ☎ 0120-989-989 ☎ 0467-74-0999	県内の雨量・水位の情報は、 カメラ画像など http://www.pref.kanagawa.jp/sys/suibou/index.html
● 防災無線テレホンサービス 直前に放送した防災行政無線の内容を自動音声で確認できます。	● 寒川町ホームページ ぐらしの情報、市政、緊急・災害情報など
● 湘南さむかわラジオ インターネットラジオで災害時の情報を聴くことができます。 https://sam-sweet.com/	https://www.town.samakawa.kanagawa.jp/index.html
● 寒川町メール配信サービス Eメールでイベント情報、町からのお知らせ、防災情報を配信するサービスです。 詳しくは、右記二次元コードよりご確認ください。	● 寒川町公式LINE ぐらしの情報、市政、イベント、緊急・災害情報など
寒川町メール配信サービスの紹介 https://www.town.samakawa.kanagawa.jp/mailhainshin/index.html	https://page.line.me/851fnnlz?openQRModal=true

● 災害用伝言ダイヤル「171」

安否確認や避難している場所を音声で伝言することができます

利用方法

171
にダイヤル
ガイダンスが流れる

録音の場合 1
再生の場合 2

市外局番から電話番号を入力
被災地の場合は自宅の電話番号を
被災地以外の場合は被災地外への電話番号を
(×区×××) ×××-×××××

● 災害用伝言板

NTTドコモ

<http://denson.docomo.ne.jp/top.cgi>

ソフトバンク
ワイモバイル

<http://denson.softbank.ne.jp/>

KDDI: au

<http://denson.ezweb.ne.jp/>

楽天モバイル

<https://public-safety.mobile.rakuten.co.jp/?lang=ja>

● 災害用ブロードバンド伝言板
(web171)NTT 東日本

<https://www.web171.jp>

災害が発生した時は、すぐに避難しなければなりません。避難する場合に備えて、日頃からリュックサックなどに必需品をまとめ、持ち出しやすい場所に保管しておきましょう。

食料	救急・安全対策	貴重品
□ 常備飲料(1人1日2~3リットルを目安) □ 非常食(缶詰、乾パン、レトルト食品など) □ 携帯食(チョコレート、キャンディーなど) □ 粉ミルクと哺乳瓶(赤ちゃんがいる場合) 3日分以上の食料と飲料水 を備蓄品として常備しておきましょう	□ 常備薬(胃腸薬、かぜ薬など) □ 包帯、ガーゼ、ばんそうこう □ 傷薬、消毒薬 □ 持病のある方の薬 □ ヘルメット、防災ずきん □ ホイッスル	□ 現金(小銭も必要) □ 預貯金通帳、判子 □ クレジットカード類 □ 健康保険証 □ 運転免許証など (身分証明証)

衣類など	日用品など
□ 衣類(厚手のものと薄い物) □ 下着類 □ タオル、毛布 □ 手袋、軍手 □ 寝具 □ 雨具	□ ボリ袋(ビニール袋) □ 新聞紙 □ 油性く、ライター □ ナイフ、包切り □ ティッシュペーパー □ ウエットティッシュ □ 懐中電灯(予備電池) □ 携帯ラジオ(予備電池) □ 携帯電話(充電器・バッテリー) □ 筆記用具(油性マジック) □ 洗面用具 □ メガネ □ マスク □ 使い捨てカイロ □ 紙おむつ □ 生理用品 □ 布ガムテープ □ ロープ □ 地図(ハザードマップ)

正確な情報収集と自主的避難を

防災行政無線・ラジオ・テレビ・インターネットで最新の気象情報、河川情報、避難情報に注意してください。雨の降り方や浸水状況に注意し、危険を感じたら自主的に避難しましょう。

● **速やかに避難**

高齢者等避難や避難指示は、危険が迫ったときに出示されます。その際には速やかに避難してください。避難の際には町職員・消防などの指示に従いましょう。

ただちに避難してください!!

● **ご高齢の方などの避難に協力を**

ご高齢の方や子供、障害のある方、病気の人は早めの避難が必要です。避難が困難な方に声をかけ、近所で助け合い、地域全体での避難完了に努めましょう。

● **動きやすい格好、2人以上での避難**

避難するときは、動きやすい格好で、また、危険に見舞われる可能性があるため、1人での避難は避け、2人以上での避難を心がけましょう。マンホールのふたが外れて、穴があいている場合があります。棒などで足元を確認しながら避難しましょう。

● **高い道路を通過して避難を**

避難はできるだけ高い道路を選び、溝や水路に近づかないでください。

● **避難の呼びかけに注意を**

危険が迫ったときには、役場や消防から避難の呼びかけをすることがあります。呼びかけに注意し、呼びかけがあったときには、速やかに避難してください。

● **避難する前に火元の確認を**

避難する前に、ガスの元栓を閉め、電気のブレーカーも忘れずに切りましょう。

ガス OFF

● **車での避難は控えて**

基本は徒歩避難です。浸水して動けなくなる可能性があります。緊急車両通行の妨げになります。徒歩で移動することが困難な支援を必要とされる方が避難する場合には自動車による早めの避難を検討してください。

● **危険な箇所を避けましょう**

道路や鉄道の下をくぐるアンダーパスは水がたまり通行できません。十分注意してください。また、がけの近くでは土砂災害に注意してください。

● **家族には連絡メモを残しましょう**

外出中の家族には「どこどこへ避難する」といったようなメモを残しておきましょう。

方が、逃げ遅れて危険が迫ったときには、近隣の高い場所や住宅の2階等に逃げ、救助を待ってください。

避難所へ使用する備品を準備しましょう。

ペットフード・水・食器・ケージ・リード・バッグ・リード
常備薬・トイレ用品等
同行避難を心掛けましょう。

●マイ・タイムラインとは

「マイ・タイムライン」は住民一人ひとりのタイムラインであり、台風の接近によって河川の水位が上昇するときに、自分自身がとる標準的な防災行動を時系列的に整理してまとめるものです。マイ・タイムラインを作成して、自宅周辺のリスクについて認識してください。そして、自分自身や家族が逃げるタイミングを整理しておき、いざというときに的確な行動を取るようにしましょう。

ポイント：避難行動を起こす必要があるときには、風雨が強かったり、すでに浸水が始まっている場合もあります。また、夜間に避難しなければならない場合もあります。様々な状況を想像してみてください。

● 平常時の確認事項

● 住んでいる場所の浸水想定を確認し記入してください。

浸水深	_____m
浸水継続時間	_____日
家屋倒壊等氾濫想定区域にある	☐ 「河岸侵食」の区域内にある ☐ 区域からはずれている

次のいずれかに該当する場合には、大雨が予想される時に早めに立退き避難（水平避難）して下さい。

- ・浸水深 3m 以上
- ・平屋で浸水深 0.5m 以上
- ・浸水継続時間が長い（めやす 3 日以上）
- ・家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸侵食）内

● 避難する場所等を記入してください。（実際に避難して生活できる場所）

避難できる場所にチェックを記入	避難する場所の名前（親戚・知人宅は電話番号も）	家族が避難できる所要時間（※）	避難経路上の危険な場所（道路や河川等の横断など）
☐ 浸水域外の避難所			
☐ 親戚・知人宅			
☐ 近くの頑丈な建物			
☐ 自宅内の安全な場所（浸水深以上の階など）			

※ 徒歩での避難が原則です。

● 家族構成を記入してください。

名前	連絡先	日中の居場所	必需品（薬や機材など）	避難が困難な状況があれば記入してください※

※子供、高齢の方、障がいをお持ちの方など

避難支援してくれる人がいれば記入してください。

--	--	--	--

時期のめやす (状況により異なります)		防災気象情報 (気象庁・県が発表)		時期に応じて実際にを行う活動や 避難行動を書き込みましょう	
3 日前	警戒レベル1	台風に関する気象情報	早期注意情報	例)「家具を2階に上げる」、「薬や食料を用意する」、「ベットを預ける」、「早めに避難する」、「植木をしまう」	
24 時間前	警戒レベル2		大雨注意報	例) テレビ、ラジオ、インターネット等による気象情報の収集 ○ハザードマップや水、食料等の防災備蓄品の確認 ○屋外の家財を屋内へ、1階の家財を2階へ移動	
			氾濫注意報		
18 時間前	警戒レベル3		大雨警報	例) 避難の準備又は開始	
			氾濫警報		
			高齢者等避難		
			氾濫危険警報		
			大雨危険警報		
	警戒レベル4		避難指示	例) 避難の開始	
12 時間前	警戒レベル5	ここまで全員が避難を完了しておく		- 安全な場所に避難できていない場合には、命を守る行動をとる。 - 外出することで危険な状況であれば、遠い場所より近くの少しでも安全な場所(丈夫な建物の上階など)へ。	
		大雨特別警報			
		氾濫特別警報			
0 時間前			緊急安全確保		

(注意：警戒レベルは1段階ずつ上がるとは限りません)